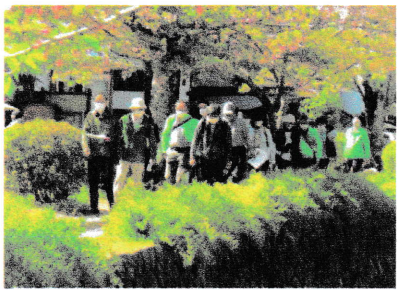
「ホタル通信」NO.1

2021年5月　　哲学の道保勝会・ホタル部会

「昔はもっとホタルが飛んでいたのになあ」という声を、「哲学の道」付近の住民のみなさんからよく聞くことがあります。「哲学の道」が、ホタルの棲みにくい環境になっているのでしょうか？

このことを受けて、「哲学の道保勝会」では、再びホタルが乱舞し、人とホタルが共生できる自然豊かな「哲学の道」の復活を目標にして《ホタル復活プロジェクト》を立ち上げることにしました。

プロジェクトを立ち上げるに先立ち、4月10日にホタルに詳しい龍谷大学の游磨教授をお招きしてフィールドワークを行いました。先生のお話によると、「哲学の道」は、東は山が迫り西には開けた空間があり、ホタルにとって最適な条件だということです。疏水分線もきれいな水がながれ、一定の水量が保たれています。餌となるカワニナもちょっと網をいれるとすぐに採れます。しかし、近年ホタルは減少してきています。今後、原因を調べ、私たちにできることを考えていきたいと思っています。



4月10日のフィールドワーク

《ホタル復活プロジェクト》当面の予定

◇5月中旬～6月初旬　ホタル飛遊数の調査

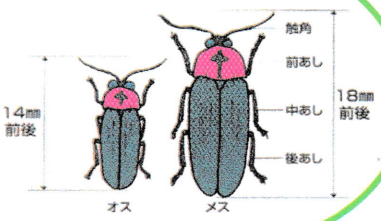
◇10月　疏水分線の環境、水生生物、カワニナの調査

《豆知識》　　ゲンジボタル

「哲学の道」のゲンジボタル及びその生息地は京都市指定・登録文化財（天然記念物）です

オス　2カ所光る(ピカピカはやく)

メス　1カ所光る(ピーカピーカゆっくり)



※お願い

過去の疏水や哲学の道の変化について知っておられる方があれば教えていただきたいです。例えば、台風で疏水が増水した時の水位の写真、石垣補修の年、外灯が増えた・LEDに変わった年、鯉が増えた年など……。

※連絡先　「哲学の道保勝会」ホタル部　櫻井

回覧										